

令和3年8月19日

## 令和3年度「健康・安全の日」集会 校長あいさつ（兼講師紹介）

本日の「健康・安全の日集会」の講師のご紹介を兼ねて挨拶をいたします。

昨年の二学期の始業式でも話しましたが、2009年8月22日、当時本校二年生の工藤剣太さんが部活動中に熱中症になり、尊い命を失いました。この重大事を全校で「我がこと」として考える為に、毎年「健康・安全の日」を設けています。

本日の講師は工藤剣太さんのお母さん、工藤奈美さんです。

昨年の「健康・安全の日集会」では、「剣太の風」の「おかんのあしがき」を紹介しましたが、そのあしがきを書かれた方です。2・3年生は内容を覚えていますか？

数日前に、お母さんと会った時には、本校の生徒（つまり皆さん）にどんな話をしようかと悩んでおられました。

奈美さんには、剣太さんの他にもお子さんがおられますが、剣太さんだけはずっと17歳のままです。ですから皆さんの保護者のような立場としてのお話をされるのかもしれませんが。

また、ご両親は、長年にわたり学校における児童生徒等の事故（特に死亡事故）をなくするための啓発活動を続けられています。その中には、これからスポーツの指導者や教員になる学生に対する講演も含まれています。今回のオリンピックの柔道で活躍した阿部詩選手も、その講演を聴いた学生の一人です。大学生と同じ様に、皆さんを大人と見て、「果たすべき責任」という内容のお話をされるのかもしれませんが。

お話の中で、お子さんの死に対する表現が出てきた時に、皆さんの中で、もし恐怖等で体調が悪くなった場合は、遠慮せず外に出る等の判断をして、健康を維持してください。（これはお母さんからのお願いでもあります）

お母さんの話を聞いて、無理なく心に残ったことは、今後の皆さんの人生において力となり、皆さんが会う人たちを守ることにもなると思っています。

それでは、工藤さん、よろしくお願ひいたします。